

今年迎えた人生の節目

こないっぺんに迎えてよいのだろうか

Best3



1.妊娠出産

2.引っ越し

3.転勤

1.妊娠出産

あたりまえだが、私が妊娠したわけでも出産するわけでもないが。しかし自分のジュニアができるというのは、なんというか自分が受け継いできた遺伝子の一部が確実に次の世代に受け継がれたということで、なんか生物としてはうれしい気分だぞ。カマキリだったらもう喰われてもいいって感じ？

2.引っ越し

前のマンションは嫁さんの実家に近く(20m)、最上階で眺望も良く、たいへん気に入っていたのだが、いかんせん狭かった。さらに家賃が高かった。2DKで月に95,000円も取られたんではたまらん。

ジュニア誕生によってさらに手狭になることは必至だったので、3LDKのマンションを探した。さらに今回は嫁さんの上り下りのことも考えて低層かエレベーターのついたマンションに限定。もちろん嫁さんの実家に近いというアドバンテージは捨てがたいので、かなり狭い範囲に絞り込んでの検索だ。家賃だって今以上は払えない。

こんな虫の良い条件はかなえられないと思うかもしれないが、現在、池田市南部は農地の宅地並課税の影響で、バンバン小規模なマンションが建っている。築5年以上のマンションは完全に借り手市場なのだ。

で、けっきょく現在のマンションが見つかった。場所も嫁さんの実家の目の前と好条件。問題の家賃も1万円値引きさせることによって前のマンションと同額になった。保証金も10万円引かせた。引っ越しも引っ越し業者の合い見積もり合戦によりかなり安く抑えた。このあたりの交渉術は、日本橋での日頃の修練のたまものだね。

3.転勤

4月から国家公務員ですわ。やってる仕事は変わらんのだけだね。

妊娠中に食べたくなったものBest3

- 1 アクエリラス (初期)
- 2 肉 (中期)
- 3 豚汁 (後期)

1 つわりで苦しんでいたとき、唯一口にできたのがアクエリラス。だからこれは好んで飲んでいたというよりもこれしか飲めなかったというのが正しい。この時期あらゆるものを吐いたが、同時に食べても既に消化されているもの、原形をとどめているもの、食物によって消化時間が違うのを実感した。食べてから吐くまでの時間と吐瀉物の様子を克明に記録していたら、マーチンのように立派な実験結果が得られたかも？意外と消化が悪かったのは、水と牛乳。特に牛乳はショックだった。豆腐のような固形物になって出てきたのだ。あれってヨーグルトだったんだろうか？

2 ニンパーは食の好みが変わると聞いていたが、これは本当だった。どちらかという野菜の方が好きだった私が、無性に肉が食べたくてたまらなくなったのだ。「ジュージューと脂のしたたるような肉に食いつきたい」などと、以前の私からは考えられないことを毎日考えていた。ただし、食の好みは一定ではなく、約一週間単位で変化していく。その時々によって自分の中の流行が目まぐるしく変わっていくのだ。覚えているだけでもバナナ、アロエヨーグルト、たこ焼き、いなり寿司、サラダ巻き、チーズケーキ、とうもろこし、スイカ、おにぎりせんべい、ビスコ、エリーゼ……。突然食べたくなっては毎日狂ったように食べ続け、そして突然飽きる。つい昨日まで夢中になっていたのに、急にどうでもよくなってしまふのだ。「もう古いのよ、それは」「ふっ、いつまでも同じ私だと思わないでよね」という感じ。その中でも肉は比較的長続きしたほうだろう。1か月くらいは続いたかな。お金もかけたしね。

3 妊娠後期に入っても、食に対する変化は相変わらず。チョコスナックパン、レーズンパン、ぜんざい、コロケ、トマト、りんご、野菜ジュース、炊き込みご飯。いろいろ浮気したが、今凝っているのは豚汁。今さっき食べたばかりだというのに、「豚汁」という文字を見ただけで、唾がわき出てくるほど豚汁に愛を感じてしまっている。ああ、豚汁食いたい。ここ1か月ほど我が家では毎食豚汁が出ている。毎日同じものを食べさせられて、我が家の熊はさぞかし迷惑だろうと思っていたら、逆に私の影響を受けて同じように豚汁の虜になりつつあるようだ。

① 松本香代



- ② 1971.11.1
- ③ B型
- ④ 体重 79 kgの人
- ⑤ 少飲少食
- ⑥ イリオモテヤマネコを飼ってみたいにやー。